

循環器科

●概要

高血圧、不整脈、狭心症、心筋梗塞、心臓弁膜症、心不全、心筋症などの心臓の病気や大動脈、末梢血管などの血管の病気を専門で扱います。脈が急に速くなる、遅くなる、胸が痛い、胸が締め付けられる、背中が痛い、息が苦しい、足がむくむなどの症状がある方は、心臓の病気が原因である可能性があります。お気軽に受診されてください。

●専門外来

循環器学会循環器専門医を中心とした専門外来を行っております。再診の方には予約表をお渡ししておりますので、受診の際にお持ちください。

	月	火	水	木	金	土
午前	高垣健二	—	高垣健二	高垣健二	高垣健二	●高垣健二 ◆玉置俊介
午後	—	高垣健二	◎高垣健二	—	—	—

* ◎は、ペースメーカー外来で、第3週のみ、予約制です。

* ●は、月1回 第2土曜日の診療となります。

* ◆は、月2回 第2・4土曜日の診療となります。

●検査について

心電図検査、 運動負荷心電図検査、 ホルター心電図検査、 ABI 検査

超音波検査、 冠動脈 CT 検査

などを行っております。心電図検査、ABI 検査以外は予約制ですが、当日施行できる場合もあります。担当医にご相談ください。

●治療について

内服薬による治療、生活習慣指導に加え、心臓ペースメーカー治療を行っております。

脈が遅くなる不整脈（専門的な病名では、完全房室ブロック、洞不全症候群）では、脳への血流が一時的に低下し、めまい、失神などの症状が出現します。このような不整脈の治療にペースメーカーが用いられます。

【心臓ペースメーカーの植え込みについて】

電氣的に刺激を与えて心臓の拍動数を補うのが心臓ペースメーカーです。ペースメーカーは、刺激を作り出す本体（電池とコンピューター）と、刺激を伝える電極リードの2つの部位から成り立っています。鎖骨の下を通る静脈に電極リードを挿入して、心臓に到達させ、本体を左右どちらかの胸部の皮下に植え込みます。外来での検査でペースメーカーが必要と判断された場合、入院で行います。手術は、局所麻酔で、1～2時間程で終わります。

【心臓ペースメーカーの定期検査について】

ペースメーカー治療を行った後は、電池の残量とリードに異常がないかのチェックが必要となりますので、定期的な受診が必要となります。プログラマという機器を使って、体の外側からチェックします。第3水曜日の午後、予約制の診療となります。